

播磨の昆虫 ゴキブリ分布資料

播磨の昆虫分布資料④

相坂 耕作

はじめに

ゴキブリは脂ぎった体をもち、不潔なイメージがあるため好感がもたれない昆虫といえる。そのため、いわゆるアマチュアでは、採集や研究をする人はほとんど見当たらないのが現状である。しかし播磨地方にはアース製菓という害虫に関する研究が進んだ会社があり、比較的ほかの地方よりゴキブリの分布や生態の研究が進んでいるとおもわれる。ゴキブリ類は古くは直題目中の1科として、また一時はカマキリ類と合して1亜目として知られていた。最近では独立しゴキブリ目として分類されている。わずかなデータであるが、今後の生息状況を知るための参考として一筆記してみた。

播磨のゴキブリ・分布種

- 1) ワモンゴキブリ *Periplaneta americana*
- 2) クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa*
- 3) ヤマトゴキブリ *Periplaneta japonica*
- 4) ヒメクロゴキブリ *Chorisoneura nigra*
- 5) ツチゴキブリ *Margattea kumamotonis kumamotonis*
- 6) キスジゴキブリ *Symptloce striata striata*
- 7) チャバネゴキブリ *Blattella germanica*
- 8) モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponic*
- 9) サツマゴキブリ *Opisthoptlatia orientalis*
- 10) オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica*

今後発見可能な種

近畿地方には次の5種類のゴキブリが記録されている。いずれも分布可能な種であり、今後の調査により発見される可能性がある。

- ・クロモンチビゴキブリ *Anaplecta japonica*
大阪府下で見つかっている。
- ・ヨウランゴキブリ *Imblattella orchidae*
大阪府下で見つかっている。
- ・ウスヒラタゴキブリ *Onychostylus pallidoilus*
大阪府下で見つかっている。

- ・キョウトゴキブリ *Asiablatta kiyotensis*

大阪府下、京都府下、滋賀県下で見つかっている。

- ・ウルシゴキブリ *Periplaneta japonica*

和歌山県下で見つかっている。

播磨のゴキブリ分布種解説

- 1) ワモンゴキブリ *Periplaneta americana*

世界共通種であり、日本では暖かい地方に棲んでいる。赤穂市にあるアース製菓では大量に飼育、研究している。一時神戸市にも定着したという。

- 2) クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa*

おなじみの家庭にいるゴキブリ。

<採集例>

- 1♀ 10-VII-1983 姫路市東山 Col. 家永善文
1♂ 30-IX-1990 揖保郡御津町室津 Col. 相坂耕作
1♂ 25-XI-1990 姫路市飾磨区入船 Col. 相坂耕作

- 3) ヤマトゴキブリ *Periplaneta japonica*

播磨地方ではほとんど家庭で見られない。佐用郡で見られるが筆者は採集したことがない。

- 4) ヒメクロゴキブリ *Chorisoneura nigra*

播磨各地の樹上にて見られる。広葉樹が好きなのか多く生息している。本州では京都、兵庫、和歌山に分布している。

<採集例>

- 1ex. 6-VII-1975 赤穂市坂越 Col. 採集者不詳
多数 -VII-1995 高砂市 Col. 相坂耕作

- 5) ツチゴキブリ *Margattea kumamotonis kumamotonis*

成虫および幼虫ともに積まれた枯草などの中に見られるという。赤穂市での記録がある。

<採集例>

- 1ex. 15-XI-1977 赤穂市 Col. 橋田和則

- 6) キスジゴキブリ *Symptloce striata striata*

本州では現在の東限として赤穂市坂越が知られ

ている。

7) チャバネゴキブリ *Blattella germanica*

世界共通種として有名。播磨各地でもビルや飲食店にて多く見られる。

<採集例>

1♂ 1-VII-1963 姫路市南畝町 Col. 相坂耕作

1♀ 9. VI-1994 姫路市西延末 Col. 相坂耕作

8) モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica*

海岸近くの松林などには特に多いようである。

<採集例>

1ex. 29-IX-1967 龍野市竜野町 Col. 相坂耕作

1ex. 4-XI-1985 姫路市林田町 Col. 相坂耕作

1ex. 4-VI-1995 赤穂市坂越生島 Col. 大貝秀雄

9) サツマゴキブリ *Opisthopteria orientalis*

朽ち木の樹皮に潜んでいるらしいが、播磨地方では神崎郡でオガ屑内で見つかったことがある。

1♀ 20-V-1988 神崎郡神崎町 Vol. 森田真澄

10) オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica*

近代昆虫分類学の祖、播磨出身の松村松年博士の弟子の素木得一が播磨産のオオゴキブリにより学名記載を行ったという。旧名はオオアブラムシ、ツノオホゴキブリといわれたそうである。

<採集例>

1♀ 12-VIII-1979 加西市坂本町 Col. 相坂耕作

1♀ 1-IX-1982 姫路市書写山 Col. 相坂耕作

多数 4-VI-1995 赤穂市坂越生島 Col. 相坂耕作

内職的に集めただけなのであまり標本としていないが、今後衛生害虫にも力を入れたいと思っている。

<参考文献>

日浦 勇 Nature Study. 21(3):2~4, 21(5):2~6, 21(10):2~4.

森田真澄 きべりはむし第16巻第2号 兵庫昆虫同好会(1988年)

朝比奈正二郎 日本産ゴキブリ類 (株)中山書店 (1991年)

(AISAKA KOUSAKU 姫路市大津区天満 960-19)

越冬前のウラギンシジミ

近藤 伸一

自宅(神戸市西区)のアラカシの生け垣で越冬に入る前のウラギンシジミの行動を観察することが出来た。晩秋のウラギンシジミは、一旦越冬に入っているように見えても、条件しだいでは越冬場所を選びかえるようである。以下は観察記録。

1998年11月2日

14:00 ウラギンシジミがアラカシの生け垣にまとわりように飛んでいるのを見つけた。

14:10 アラカシの葉裏に止まり静止した。

14:30 止まっていた葉から30cmほど離れ、やや茂みの奥まった葉に移動した。

15:00 触角を翅の間に挟み、前脚を折り曲げた越冬態勢になる。

11月4日

9:00 同じ態勢

17:00 同じ態勢

22:00 翅にマークするため、マジックインキで触れた瞬間に飛びたつた。越冬態勢に入って2日間まったく動きはなく、気温も低かったため、この感受性は意外であった。

11月5日

9:00 飛びたつた葉から1mほど離れた葉の裏に止まっているのを再度見つけた。翅にかすかにマジックインキの跡があり、同一個体である。この場所は外に面し、直接風が当たる越冬に不向きな場所とおもわれた。

11月6日~11月18日

機会ある度に観察したが、同じ場所、同じ態勢で、そのまま越冬に入ったものと思っていた。

11月20日 7:00

姿が見えなくなった。

(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡 619-57)